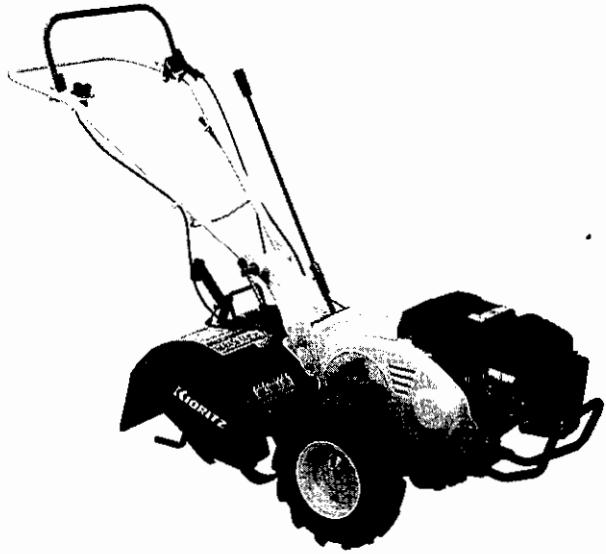
KIORITZ

共立ミニ耕耘機

KR41

取扱説明書



0021-70035

- 取扱説明書本文中にでてくる重要危険部品は、製品を使用する前に注意深くお読みいただき、十分理解してください。
- 本製品ご購入の際には、販売店より安全のための使用方法についての説明をお受けください。
- 取扱説明書はいつでもごらんになれるよう、品質保証書とともに大切に保管してください。

※快適作業を維持するため、製品の定期点検を励行しましょう。

目次

１．はじめに ---------- １

２．安全上のご注意 ---------- ２

３．警告マーク ---------- ５

４．サービスと保障について ---------- ６

５．各部の名称と使用準備 ---------- ７

６．仕様とアタッチメント ---------- ９

７．始動と停止のしかた ---------- １０

８．運動操作のしかた ---------- １２

９．点検と整備 ---------- １３

１０．保管と運搬 ---------- １９

１１．アタッチメント（別売品）の使用方法 ---------- ２０

１２．故障かな？と思ったら ---------- ２０

１３．アタッチメントと補用部品 ---------- ２４

１．はじめに

この度は、弊社製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。
本製品を常に最良の状態に保ち、安全な作業をしていただくために、この取扱説明書を最後までよくお読みいただき、安全な運転作業と正しい取扱い方法を十分理解し、安全で能率的な作業にお役立てください。また、常に取り出してご覧になれるよう、大切に保管してください。

■安全に関する表示について

本書では、作業者や他の人が障害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになるもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、けがを負う可能性があるもの

■その他の指示

参考：

操作、保守についてのコツ、誤りやすいミスに関するもの

■取扱説明書について

- 本機を使用する前にはこの取扱説明書をよくお読みください。
- 作業をするときには必ず携帯してください。
- 本機を貸与または譲渡される場合は、必ず本機と一緒にお渡しください。
- 紛失または破損したときは、製品お買い上げの販売店までご注文ください。

＊仕様変更等により、イラスト、内容が一部本機と異なる場合があります。
＊品質保証書は記載事項をよくお読みの上、必ずお買い上げ日及び販売店名が押印されていることをご確認の上、大切に保管してください。

２．安全上のご注意

■あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

⚠ 警告

ご使用前は…

1. 可能な限り、作業場を清掃してください。
   - 小石、ガラス、釘、針金、ひも等の異物を圃場より取り除いてください。
2. 周囲の状況を確認してください。
   - 強風、雨のとき、及び夜間は使用しないでください。
   - 換気の悪い場所や建物の中では使用しないでください。
3. 次のような人、または状況下では使用しないでください。
   - 妊娠中の人、飲酒した人、過労、病気、薬物の影響で正常な運転ができない人は使用しないでください。
   - 機械の知識のない人や他人の機械を借りて作業をするときは、予め安全作業の指導を受けてから使用してください。
4. きちんとした服装で作業をしてください。
   - 裸足やつま先が空いている靴やサンダルで操作をしたり、だぶついた服や巻きタオル、腰タオル等は動いている部品に引っかかる等、思わぬ事故を起こす場合があります。
5. 各部を点検してください。
   - 保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
   - カバーやラベル類、その他の部品を取り外したまま使用しないでください。
   - 点検作業は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。
6. 純正部品を使用してください。
   - 本機の改造は絶対にしないでください。また、指定部品以外は使用しないでください。
7. 本機をつり上げて点検する場合は、必ず落下防止を行ってください。

警告

ご使用中は…

8. 圃場に人やペットを近づけないでください。特に子供には注意してください。子供が圃場に入ったときには作業を中断し、エンジンスイッチを切ってください。思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
9. 無理な姿勢で作業しないでください。
   ・急傾斜地では作業しないでください。傾斜角度が大きくなるほど危険です。
   ・傾斜地での作業は、上下方向よりも横方向(等高線方向)に行うようにしてください。上下方向の作業は、本機が滑り落ちてきたり、作業者の足が滑って本機に巻き込まれたりする恐れがあります。
   ・傾斜地での旋回は転倒事故の恐れがあります。速度を十分に落とし、周囲に注意して行って下さい。
   ・傾斜地では必要以上に速度を上げないでください。速度が速すぎるとバランスを崩しやすく転倒してけがをする恐れがあります。
   ・圃場への出入り、溝又は畝の横断、軟弱地の通過等は、エンジン回転を下げ、圃場の状況を十分に把握し、廻りに注意して行ってください。
   ・作業中、異常を感じたら必ずエンジンを停止し、点検を行ってください。
   ・休憩等で本機を離れる場合には必ずエンジンを止め、安定した場所で確実に固定させてください。
   ・エンジンがかかっているときは、絶対に手や足を耕うん爪に近づけないでください。
   ・作業中、ローターを点検するときは、必ずエンジンを停止し、また手を保護するために厚手の手袋をしてください。
   ・移動は必ず「移動」位置で行ってください。「作業」位置での移動は､耕うん爪が回転し、思わぬ事故につながる恐れがあります。
10. 作業中は必ずらくらくアンカーを取り付けておいて下さい。
   ・らくらくアンカーを取り外して作業をすると、本機のダッシング等による打撲、転落事故等の危険があります。

警告

ガソリンについて…

11. 燃料を補給するときや燃料タンクの付近ではタバコを吸ったり炎や火花等の火気を近づけないでください。
12. 燃料はこぼさないように注意し、所定のレベルまで補給してください。燃料キャップを確実に締め、もし燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取り、よく乾かした後、エンジンを始動してください。ふき取った布きれ等は、火災と環境に十分注意して処分してください。
13. 排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。屋内や囲いのある場所で作業を行う場合には、排気ガスが蓄積されないように適切な換気を行って下さい。

ご使用後は…

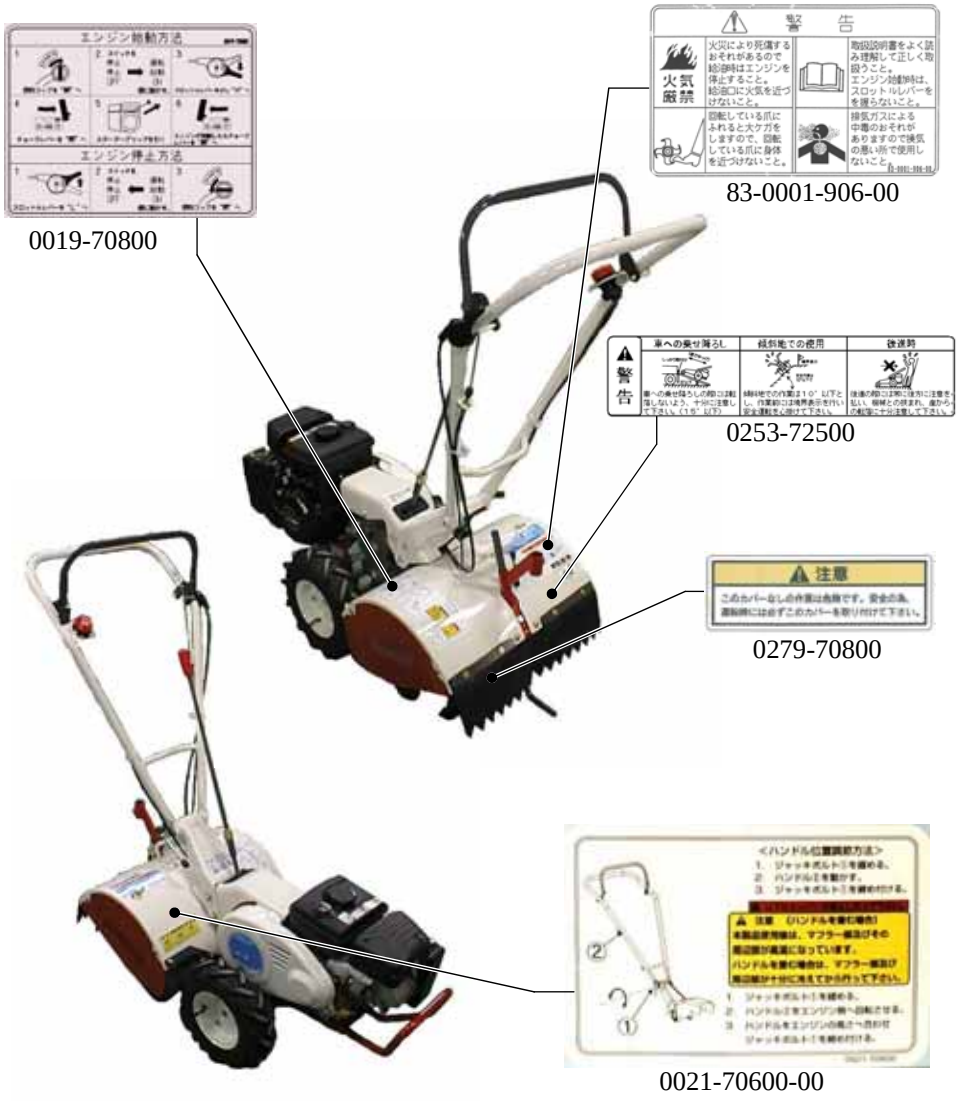
14. 次回の作業のため、本機の点検、整備を行ってください。
15. アタッチメントの取り外しは、平坦で安全な場所で行ってください。
16. 長期間の保管は、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を抜いてください。又、各部は十分に清掃し、可動部分にはオイルを注油してください。
17. 作業中はもとよりエンジン停止直後は、やけど防止のため、マフラやエンジン本体に触れないようにしてください。
18. 本機にカバーを掛ける場合は、エンジンが十分に冷えてからにしてください。火災の恐れがあります。

積み降ろし及び運搬は…

19. 荷台、トランクから本機がはみ出さない車を使用してください。
20. 積み降ろしは平坦な場所で行ってくだ下さい。
21. 積載する車は、エンジンを止めサイドブレーキを引いてパーキング状態にして、確実に動かないようにしてください。
22. 運搬時、燃料コックは｢OFF｣位置でエンジンは必ず停止してください。
23. 運搬時は本機を荷台上で動かないように丈夫なロープ等で確実に固定してください。

３．警告マーク

本機を安全に使用していただくために、本機には警告マークが貼付されています。
警告マーク記載事項を全て読み理解して必ず守ってください。
マークが見えにくくなった場合には、新しいマークに張り替えてください。
又、警告マークが貼付されている部品を交換する場合にもマークは必ず貼付してください。（警告マークは、お買い上げの販売店へご注文ください）



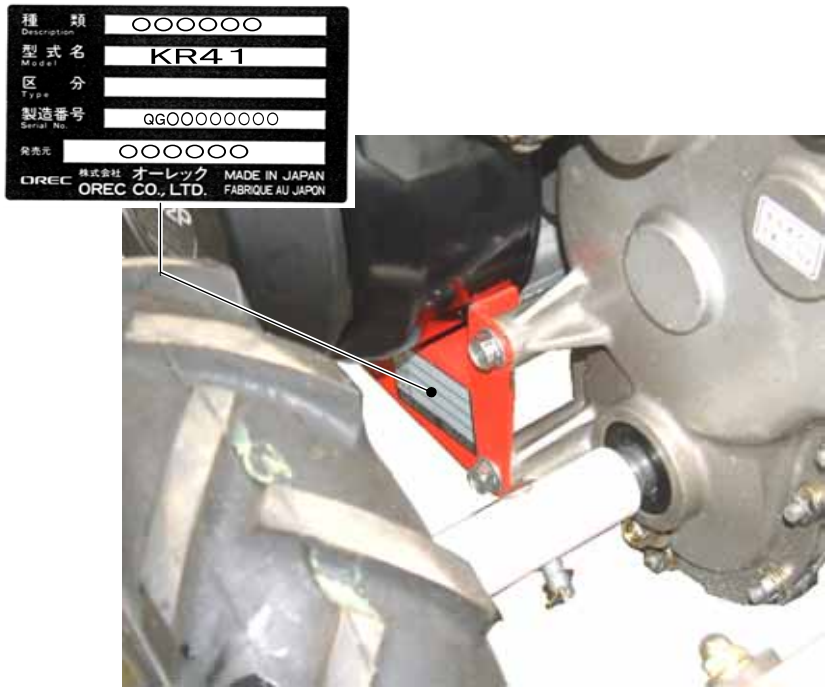
４．サービスと保証について

お買いあげいただきました製品は、当社“品質保証規定”に基づき、お買い上げいただいた日より一年間(若しくは 50 使用時間のいずれか早いほう)の保証期間となります。
正常な使用にも拘わらず本機に不具合が発生した場合には、製品添付の“品質保証書”とともに販売店にお申し付けください。

注）・本機の改造や仕様の限度を超える使用は、無償修理の対象外となりますのでご注意ください。
・レンタル業等、農業以外でのご使用は、保証対象外となる場合があります。

ご使用中の故障やご不明な点又はサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店までお申し付けください。

※“品質保証書”は無償修理申請、修理・整備依頼時に必要です。大切に保管ください。



■梱包内容

箱を開けたら、以下の物が揃っているか確認してください。

本　機



工具一式

両口スパナ
エンジン工具



保証書
取扱説明書一式



耕深棒

■エンジンスイッチ

エンジンスイッチを作動させ、引っかかりがないか確認してください。

■スロットルレバー

レバーがスムーズに引っかかりなく作動するか確認してください。

■変速レバー



運送時レバーは折り畳んであります。
変速は「中立」を挟み「移動」と「作業」の２速です。確実に入れて下さい。



注油栓

■燃料・給油

- **燃料は無鉛ガソリンを給油してください。（燃料計Ｆ位置まで）**
- 燃料の給油はエンジンを停止し、エンジン本体が冷えてから行って下さい。
- 給油中、作業中は火気厳禁です。
- 購入後、2～3ヶ月以上経過した古いガソリンは、エンジン不調の原因となります。
- 長期間使用しない場合には、燃料を抜いてください。

■耕深棒

写真の様に取り付けて下さい。

■ローター

- 使用前にローターが正しく取り付けられているか確認してください。
- ローターの点検・整備は P.13~14 をお読みください。
- ローターの回転方向に注意してください。

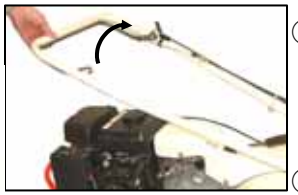
培土板
ヒッチ

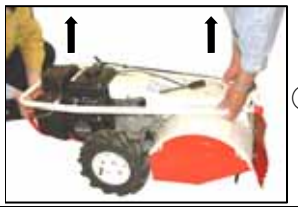
５．各部の名称と使用準備

■ハンドルのセット

※ハンドルの可動範囲に障害となる物がない事を確認後、作業を開始してください。

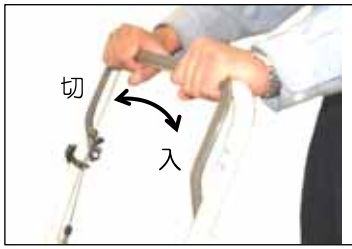






①ハンドルを持ちながら自在ハンドルを緩め、ハンドルの固定を解除してください。
②主クラッチレバーをハンドルと一緒に握ってください。
※握らないと主クラッチレバーがエンジンマフラと干渉し、その後の操作ができません。
③そのままハンドルを好みの高さまで回転させ、自在ハンドルを締めてください。ハンドルが回転しない事を十分確認してください。
④ハンドル格納時は上記と逆の操作をし、ハンドルがバンパーに当たる所で固定してください。(車に積み込む時も同様です)
⑤本機積み降ろしの際には、必ず二人で製品の前後を抱えてください。（一人での作業は危険です）左図参照。

■主クラッチレバー



ハンドルと一緒に握ると「入」（作業）位置、手を離すと「切」位置になります。

■ハンドル高さ調整



ハンドルの高さは、好みの高さで調整できます。
高さは自在ハンドルを緩めて調整を行ってください。
※調整後は、自在ハンドルを締めなおして、ハンドルが動かないよう確実に固定してください。

６．仕様とアタッチメント

■仕　様（参考数値）

型　　式		ＫＲ４１
寸　　法	長さ×幅×高さ(mm)	1,150×465×1,140（収納時 490）
重　　量	乾燥(kg)	42
エンジン (空冷 4 ｻｲｸﾙ 単気筒 OHV)	形　　式	FJ100D-DG80
	排 気 量(cc)	98
	最大出力(Ps/rpm)	3.0/4,000
	エンジンＯＩＬ(ι)	0.5 (#30)
	点火方式	ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀﾏｸﾞﾈｯﾄ点火
	点火プラグ (NGK)	BR6HS
	始動方式	リコイルスタータ
	クラッチ	デッドマン式
	無鉛ガソリン(ι)	1.9
本　　体	ハンドル調整	菊座調節式
	ミッション OIL(ι)	0.8
	ベルト(本)	LA28-SG1000×1
	変　速 (km/h)	「走行」：3.54／「耕うん」：0.51
	耕うん爪 (本)	L×5，R×5
	耕うん幅 (mm)	400

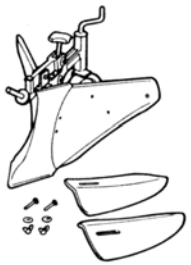
■付属品

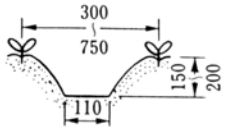
・工具｛プラグレンチ・レンチハンドル・六角レンチ＃５・両口スパナ〔17×14、10×12〕｝

・取扱説明書、保証書一式

■アタッチメント

●アポロ培土器　用途…畦立、培土作業





区　　分	
峰　金　高　さ(mm)	200
刃　　先　　巾(mm)	110
撥土板開閉範囲(mm)	270～700

＊取付方法は、P.20 アタッチメント使用方法をお読みください。

７．始動と停止のしかた

参考：

・製品出荷時、本機にはオイルが入っておりません。ご使用前には必ずエンジン、ミッションの指定の箇所に指定オイルを指定量だけ注油して使用してください。

・オイルの点検は、P.13~16 をお読みください。

・本機貼付のエンジン始動要領をよくお読みください。

⚠ 警告

・排気ガスには有毒な一酸化炭素が含まれています。屋内や換気の悪い場所ではエンジンを始動させないでください。

・エンジン始動時は、本機をしっかり押さえ、ローターの前には立たないでください。

■始動のしかた

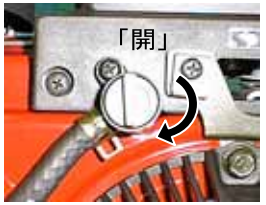


①ハンドルのスイッチを回し、「運転」位置にしてください。



②寒いとき、エンジンが冷えているときには、チョークレバーを「閉」N の位置にあわせてください。

・エンジンが暖まっているときには操作不要です。（「開」位位置のまま）



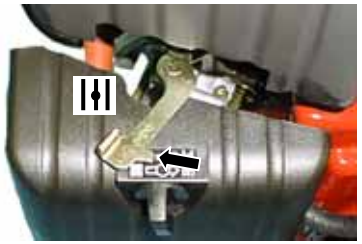
③燃料コックを「開」位置にしてください。



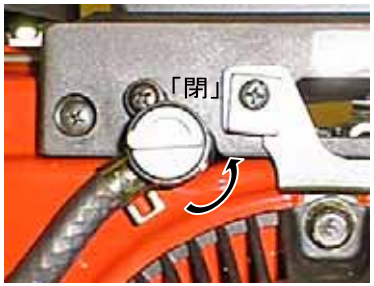
④スロットルレバーを「 」位置にしてください。

７．始動と停止のしかた









⑤本機が動かないようにハンドルをしっかりと押えてリコイルスタータを勢いよく引いてください。

参考：

・リコイルスタータの全長を確認した後、全長の 8 割くらいで始動するようにしてください。全部を引いてかけると、ロープが切れる恐れがあります。

・エンジン運転中はリコイルスタータを引かないでください。エンジンに悪影響を与えます。

⑥チョークレバーを徐々に「開」方向に戻し、30 秒程度「低速」側で暖機運転を行ってください。

■停止のしかた

⑦ハンドルのスイッチを押して「停止」位置にし、エンジンを停止してください。

⑧最後に燃料コックを「閉」位置にしてください。

警告

ダッシング…ローターの回転により本機が前進方向に勢いよく飛び出すこと。
特に固い圃場や石等の異物の多い圃場で起き易い。

８．運転操作のしかた

警告

・作業中は、進行方向に人や動物がいないことを確認してください。
・エンジン運転中は、ローターに触れない様注意してください。
・石や異物がローターに絡まったり、草等が絡まったりしてローターの回転が止まったときは、必ずエンジンを停止してこれらの物を取り除いてください。エンジンが回っているときにこれらの物を取り除くと、不意にローターが回りだし大変危険です。
・作業中のダッシングを最小限に抑えるため“らくらくアンカー”は必ず取り付けて使用してください。
・ギヤが入りにくい時には無理に入れず、一旦主クラッチレバーを「入」方向へ動かすか、本機を前後に動かした後、再度変速操作をして下さい。無理に操作をすると故障の原因となります。





①ハンドル位置を調整してください。
(P.8 ハンドル高さの調整をお読みください)
②エンジンを始動してください。
(P.10 始動のしかたをお読みください)
③変速レバーを「作業」位置に確実に入れ，主クラッチレバーをハンドルと一緒に握ると耕うん作業を開始します。
④主クラッチレバーから手を離すと本機は作業を停止します。低速でエンジンを冷やした後エンジンを停止してください。
(P.8 主クラッチレバーをお読みください)
⑤耕うんの深さは、耕深棒の上下で行って下さい。ハンドルを強く押し付けすぎるとダッシングして危険です。逆に押しが弱いと耕うん深さが浅くなります。

参考：



・ハンドルを両手でしっかりと握り、ローター部をやや押し付けるようにして作業をしてください。圃場の条件により加減してください。
・最初から深く起こそうとするとダッシング等危険です。最初は浅めに、数回に分けて作業をしてください。
・圃場状態に応じて、ローターにかける負荷をハンドルで加減をしながら作業をしてください。

９．点検と整備

お買い上げいただきました本機をいつまでも調子よく保つために定期点検を行って下さい。

⚠ 警告

・点検、整備は平坦な場所で必ずエンジンを停止して行ってください。

点検時間 / 点検項目	作業前 点　検	シーズン 前　半	25 時間毎	50 時間毎	100 時間毎
ローター	○				
エンジンオイル	○			○(初回 10H)	
エアクリーナ	○	○※1(清掃)			
点火プラグ			○(清掃)		
燃料チューブ		2 年毎※2			
ミッションオイル			○(初回)		○
らくらくアンカー		○※3			
耕うん爪			○※3		

※1 ほこりの多い作業の場合、1 回の作業毎に清掃してください。

※2 これらの項目は適切な工具と整備技術を必要とします。

※３点検し摩耗していれば交換してください。

■ローター

⚠ 注意

・ローターの取付、交換の際には、ローターの爪先にボロ布等を巻き付け、手袋を着用してください。又耕うん爪は、オーレック純正耕うん爪を使用してください。

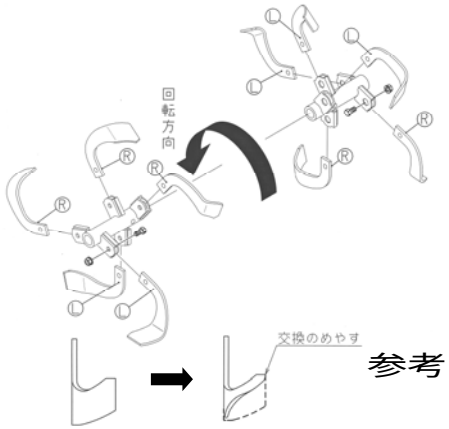


・耕うん爪の損傷･曲がりを点検し、異常があれば交換してください。
・ローターの固定ピン、R ピンに脱落、変形がないか点検し、必要であれば新しいピンと交換してください。R ピンを外し、固定ピンを抜くとローターは外れます。
・組み付ける際は、ローターの向きに注意して元の状態に組み付けてください。プライヤ等で R ピンをつかみ、固定ピンの穴に押し込みます。
・部分的な交換は行わず，耕うん爪は全部を一度に交換してください。
・耕うん爪は交換 1～2 時間使用後再度爪取り付けボルトの増し締めをしてください。
・耕うん爪の交換は、側板を取り外した方が作業しやすい場合もあります。

９．点検と整備

耕うん爪交換のめやす

●耕うん爪が下図のようになったら交換してください。

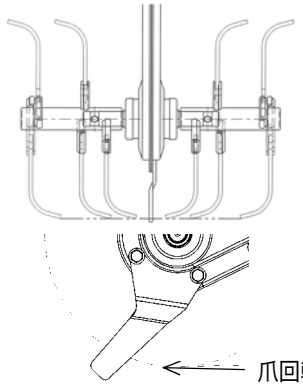


耕うん爪の交換は、同じ向きの爪を一本ずつ交換していってください。
もし、途中で取り付け方が解らなくなった場合には、左図を参考に正しく取り付けてください。耕うん爪には曲がり方向によってⓁ，Ⓡの区別があります。爪の曲がり方向と爪の回転方向に注意して取り付けてください。

参考；ローター軸の脱着時には、側板を外すと作業が容易になります。

らくらくアンカー交換のめやす

●らくらくアンカーが下図のようになったら交換してください。



交換は同じ位置に同じ向きに取り付けてください。らくらくアンカーがローターの回転径より短くなったら、もしくは頻繁にダッシングするようになったら交換時期です。

⚠ 警告

摩耗したらくらくアンカーをそのまま使用すると作業中のダッシングにより本機が前方向へ暴走し衝突、転落の危険があります。

■エンジンオイル・ミッションオイル

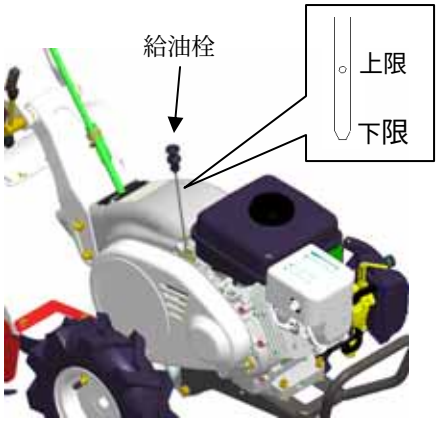
⚠ 注意

・エンジン停止直後は本体各部の温度や油温が高くなっています。十分に冷えてから(5 分以上)オイルの点検・交換を行ってください。

参考:

・オイルが汚れていると本機の寿命を著しく縮めます。各オイルの交換時期、オイル容量を守りましょう。

エンジンオイル



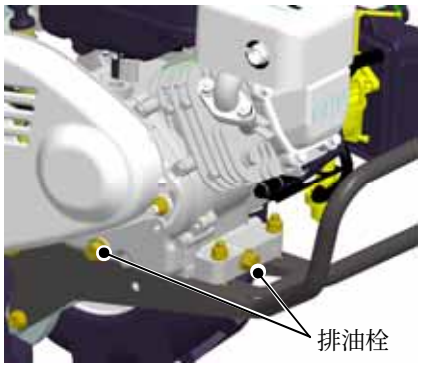
《点　検》

①毎日、もしくは 8 時間毎にエンジンを水平にしてオイルの量・質を点検してください。

②図の給油栓がオイルゲージを兼用しています。

③給油栓を引き抜き、上の目盛穴と下端の間にオイルが無ければエンジンオイルを補給してください。

（給油栓を奥まで挿し込んで計測します。）

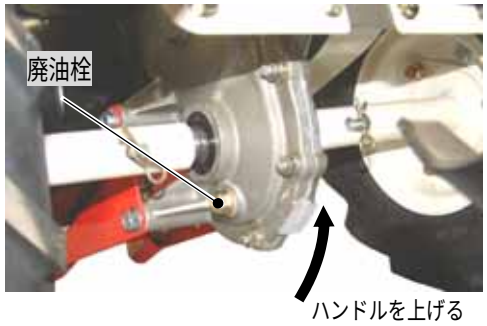


《交　換》

①排油を受ける容器を準備し，給油栓を外し、エンジン下部の排油栓(ドレンプラグ)を取り外し，容器にオイルを排出してください。

②排油栓を取り付け，新しいエンジンオイルを規定量まで給油した後，給油栓を締め付けてください。

ミッションオイル



《交　換》

①廃油を受ける容器を準備し，注油栓を取り外した後，ミッションケース下部の排油栓(ドレンプラグ)を外して古いオイルを排出してください。

②排油栓を取り付け，新しいミッションオイルを規定量まで注油した後，注油栓(P.7 参照)を取り付けてください。

参考 ；オイル排出時には，本機を前方(エンジン側)に倒し、ローター側のオイルを前方(排油栓側)に移動させたほうが容易に排出できます。

□エンジンオイル《交換時期》

初回：1 ヶ月又は 10 時間運転後　以降：6 ヶ月毎又は 50 時間運転毎

《推奨オイルと量》

API 分類 SE,SF,級相当 SAE10W-30，0.5 ι

□ミッションオイル《交換時期》

初回：25 時間運転後　以降：6 ヶ月毎又は 100 時間運転毎

《推奨オイルと量》

#90、0.8 ι

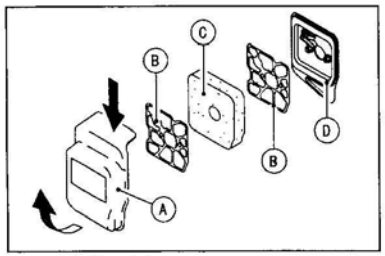
参考:

- **交換後の廃油は、適切な処置をしてください。**
- **オイルは使用しなくても劣化します。定期的に点検・交換してください。**
- **使用負荷が高い環境下では、上記の半分の時間で交換してください。**

■エアクリーナ

⚠ 警告

- 洗い油には引火性の低い灯油を使用してください。
- 清掃は換気のよい場所で行ってください。



A.エアクリーナケース
B.プレート
C.エレメント
D.エアクリーナボディ

①エアクリーナケースの上側を手で軽く押し下げながら、下側を手前に引いて取り外し、ホコリやゴミを気化器側に入れないように注意深くエレメントを取り外してください。

②エレメントを洗い油又は水で薄めた中性洗剤で洗い、よく絞って乾かしてください。

③エレメントを新しいエンジンオイルに浸した後、固く絞ってください。

④エレメントを元通りに取り付け、カバーを元通りに取り付けてください。

《清掃時期》

3 ヶ月毎又は 25 時間運転毎、ほこりの多い場合は 10 時間毎又は毎日。

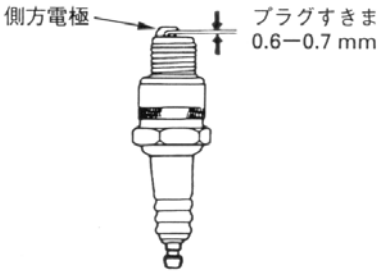
※粉塵が舞う環境下では上記の半分の時間で清掃してください。

参考：
・エアクリーナを取り外したままエンジンを始動させないでください。エンジンが早く摩耗する原因になります。

■点火プラグ

⚠ 注意
・エンジン停止直後のマフラや点火プラグ等は非常に熱くなっています。やけどをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。





プラグ隙間：0.6〜0.7mm
指定プラグは P. 9 仕様参照

《清掃》

①点火プラグキャップを外して、プラグレンチで点火プラグを取り外してください。

②汚れている場合はワイヤブラシ等で清掃してください。

《点検・調整》

③プラグの隙間を点検し、側方電極を曲げてプラグ隙間を下記寸法に調整してください。

④取り付けはまず指で軽くねじ込み、付属のプラグレンチを使って確実に締め付けてください。

⑤プラグキャップを取り付けます。

■燃料パイプ



《点検》

燃料パイプに劣化、ひび割れ、燃料漏れがないか確認してください。
異常がある場合は交換が必要です。

《交換時期》

3 年毎

■燃料フィルタ

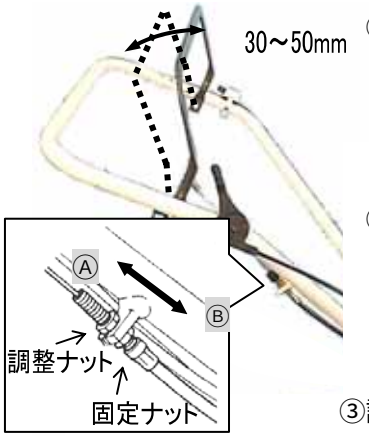
⚠ 危険
・ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こす危険があります。換気、火気に十分注意してください。



参考；
給油は必ず，燃料給油口内の燃料ストレナーを通して行ってください。さもないと水分その他異物の混入により，エンジン回転不調の原因となります。

《点検・清掃時期》燃料給油時毎にストレナー内に堆積した異物を清掃する。

■Ｖベルト・ワイヤ



①主クラッチレバーを「㊀」から「㊉」位置へゆっくりと移動させていったときに、30〜50 mm 程度のところで駆動がつながれば(本機が動き出せば)ベルトの張りは正常です。

②上記の数値以上で駆動がつながる場合には、主クラッチワイヤの調整ナットをⒶ方向に移動させ、ベルトの張りを調整してください。(以下でつながる場合はⒷ方向へ)

③調整後、固定ナットを確実に締め付けてください。

参考；**Ｖベルトを交換した場合にはベルト押えの調整も行ってください。**
目安として、主クラッチレバーが「㊀」位置のとき，ベルト押えがベルトを軽く押え，ベルトがエンジンプーリの溝より軽く浮き上がる位置でセットします。

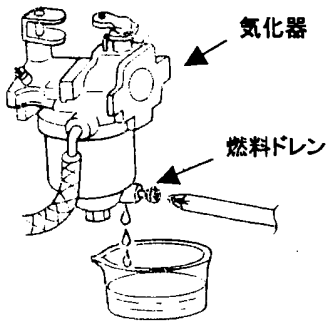
《ベルトサイズと点検・調整時期》

ベルトサイズ： LA28-SG1000×1

調整：初回 2〜3 使用時間毎　　以降 50 使用時間毎

１０．保管と運搬

■保管　　**★長期間運転しない場合は、以下の手入れを行って下さい。**



・燃料コックを「閉」位置にし、気化器下部の燃料ドレンを緩めて燃料ホース内に残ったガソリンを排出し、燃料タンク内のガソリンはポンプ等で排出してください。排出後は緩めた燃料ドレンを元通りに締めてください。

・各部を清掃し、エンジンオイルを交換してください。(以上、前項参照)

・エンジンが十分冷えている事を確認した後、乾燥した場所で子供の手の届かない所、又は錠のかかる所に保管してください。
(ほこりがかからないよう、カバー等をしておいてください。)

■運搬

●持ち運び

・本機を運搬する場合は、万一の場合に備え、燃料タンクの燃料は抜き取ってください。

●移動

・エンジン始動中は、変速レバーを「移動」位置に、スロットルレバーを「🐢」位置にして、クラッチレバーを「入」にしてください。

★本機は「移動」速度が早い為、上記の作業を必ず守ってください。

・エンジン停止中は、変速レバーを「中立」位置にし、手で押して移動してください。

●車載

・ハンドルを折りたためば、ワゴン車等に収納する事ができます。但し収納できない車種もありますので、事前に荷室のスペースを確認してください。

・積み降ろしともに作業は必ず二人で、製品の前後を持って行って下さい。一人での積み降ろしは危険です。

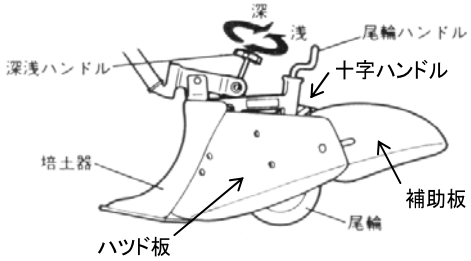
・荷室の中で製品が移動しないように、変速レバーは「移動」位置にし、“急”の付く運転は控えてください。

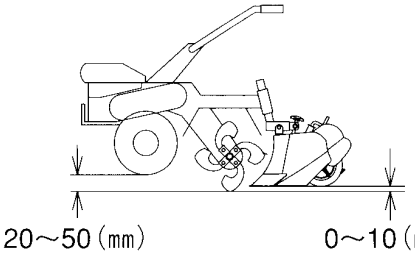
・トラックでの移動については、荷台の上で動かないよう、ロープでしっかり固定してください。

１１．アタッチメント(別売品)の使用方法

■アポロ培土器…畝立、培土作業







①耕深棒を外し、培土板ヒッチ部に培土板支管を差し込み、当りがある位置まで引き上げて、耕深棒を固定しているジャッキボルトを使ってしっかりと固定してください。

②深浅ハンドルを回し、培土器が地面と水平になるよう培土板の角度を調節してください。

③畝が浅すぎるときには深浅ハンドルを左に、深すぎるときには右に回し、所要の位置に調整してください。

④畝幅は、培土器の十字ハンドルを緩め、ハツド板の開閉で調整してください。補助板は取り付けることも出来ます。必要に応じて取り付け、前後に調整し使用してください。

⑤調整位置決定後、尾輪が地面に当たる位置に尾輪ハンドルを調整してください。

⑥変速レバーが「耕うん」位置で作業を行って下さい。「移動」位置では作業できません。

⑦標準のセット位置は左図の通りですが、セットの位置は圃場の状態で変わります。

★粘土質の田畑等では使用しないで下さい。作業が出来ないばかりでなく、本機に負担がかかり、故障の原因となります。

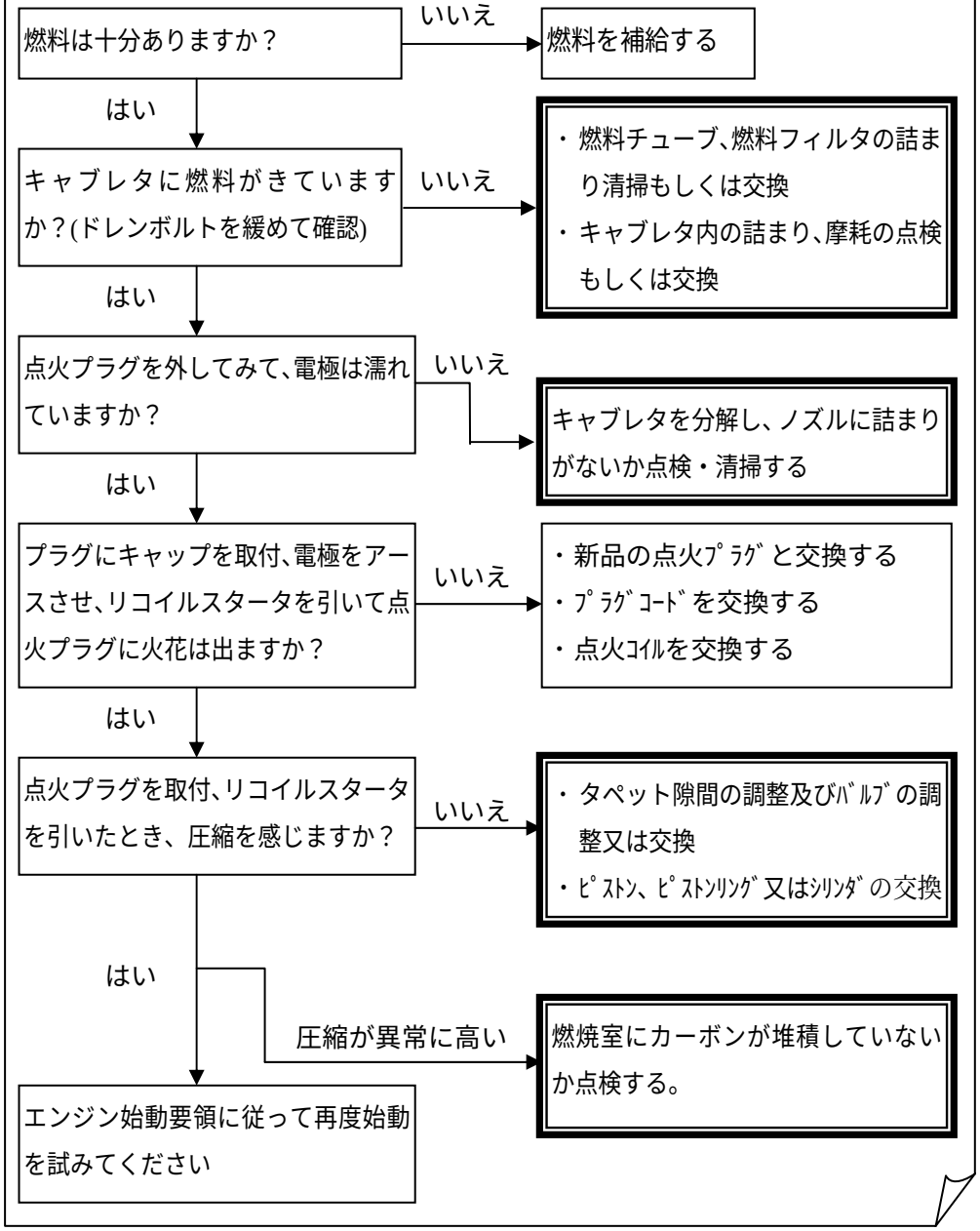
１２．故障かな？と思ったら

■作業中、異常を感じたら、下記のトラブルシューティングに従い、まずご自分で点検を行って下さい。それでも尚不調が解消しない場合には、むやみにご自分で分解しないでお買いあげの販売店へ修理をお申し出ください。

参考:

□で囲った部分の点検・交換作業には、専用の工具・技術が必要となりますので、ご自分で行わず製品をお買い上げの販売店にご相談ください。

★エンジン始動不良時のトラブル診断

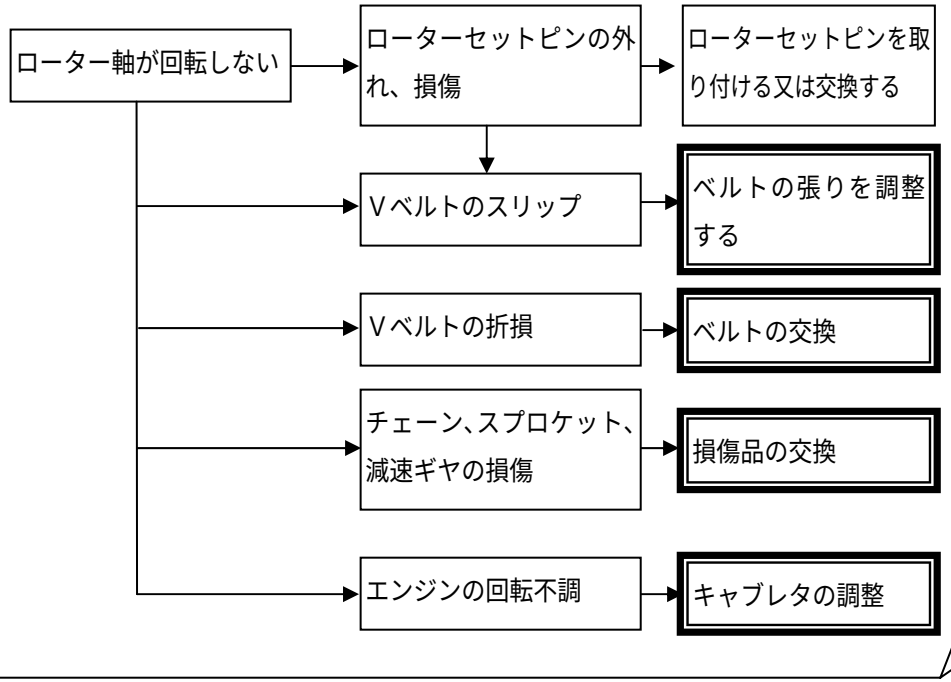


★エンジン回転不調時のトラブル診断

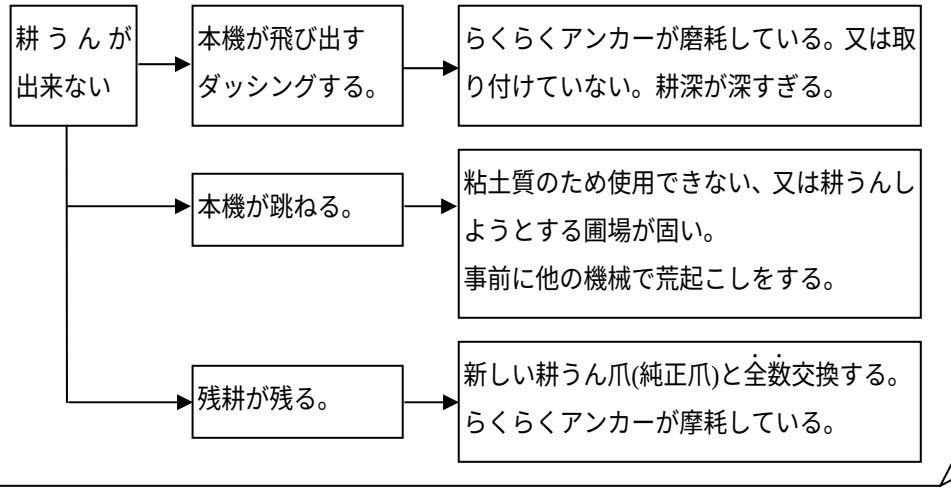


１２．故障かな？と思ったら

★ローターの作動に関するトラブル診断



★誤操作による異常



１３．アタッチメントと補用部品

■アタッチメント(用途については本書 19～20 頁をご参照ください。)

名　　称	品　　番	備　考
アポロ培土板２	0019-93010	

■本機部品＆消耗品

名　　称	品　　番	数/台	備　考
スロットルワイヤ	83-1260-951-00	1	
主クラッチワイヤ	0021-70900	1	
らくらくアンカー	0019-60700	1	
Ｖベルト	89-6122-002803	1	LA28-SG1000
耕うん爪(ナタ爪)L	80-1310-821-00	5	AR50L×5
耕うん爪(ナタ爪)R	80-1310-822-00	5	AR50R×5
耕うん爪(ナタ爪)セット	0019-90000	1SET	L×5/R×5
爪取付けボルト(M10×20)	85-1321-836-00	10	小型角根丸頭ボルト
六角ナット M10	89-1611-100042	10	小型
ばね座金	89-1750-100002	10	φ10
爪取付けボルトセット	85-1321-835-00	10	
固定ピン	0009-70300	4	φ8×42×37
Ｒピン	89-2131-080002	4	φ8
警告ラベル	83-0001-906-00	1	火災により…
〃	0253-72500	1	車への乗せ降ろし…
ＧＲラベルＣ	0279-70800-00	1	このカバー無し…
操作方法マーク	0021-70600-00	1	ハンドル位置…
エンジン始動ラベル	0019-70800-02	1	エンジン始動方法…

１４．廃棄

交換後の部品の廃棄は、各自治体の廃棄方法に従い処分を行って下さい。